

開催趣旨

文系学会のジェンダー平等を推進する GEAHSS（ギース：人文社会科学系学協会における男女共同参画推進連絡会 2017 年 5 月発足）は、2018 年に「第 1 回 人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査」を全国規模で実施しました。このシンポジウムではその報告を行うとともに、問題の背景を歴史的視座から探ります。さらに、GEAHSS の 1 年間の活動から見てきた文系学会の悩みや課題のあれこれをシェアし、議論します。この機会に、加盟学会会員・関係者はもちろん、加盟をお考えの諸学会、言いたいことがある院生・若手の皆さん、関心ある市民の皆さまもどうぞお越しください。

GEAHSS の目的

人文社会科学分野での若手・女性研究者支援とともに、研究分野を超えた連携のもとで人文社会系の学術の発展をめざす。

- 1 学協会におけるジェンダー平等に関するグッド・プラクティス（好事例）の共有
- 2 学協会におけるジェンダー統計に関する調査・公表・分析
- 3 公開シンポジウムの開催

プログラム

司 会：巽 孝之（日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会委員、慶應義塾大学文学部教授）
小方 直幸（GEAHSS 幹事、東京大学大学院教育学研究科教授）

13:00 開会挨拶：井野瀬 久美恵（GEAHSS 委員長、甲南大学文学部教授）

趣旨説明：永瀬 伸子（日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会委員長、お茶の水女子大学基幹研究院教授）

来賓挨拶

13:20 講 演：室伏 きみ子（お茶の水女子大学長）

「GEAHSS への期待」

隠岐 さや香（日本学術会議若手アカデミー会員、名古屋大学大学院経済学研究科教授）

「学問分野のジェンダー化とその文化的起源—天才神話と有用性言説—」

14:45 報 告 1：日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会および GEAHSS による

「第 1 回 人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査結果」

永瀬 伸子

上田 貴子（日本学術会議連携会員、早稲田大学政治経済学術院教授）

二神 枝保（日本学術会議連携会員、横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）

滑田 明暢（静岡大学大学教育センター講師）

報 告 2：井野瀬 久美恵「GEAHSS 活動報告—ジェンダー平等と学問の質的向上の“間”—」

発 表：加盟学会の取り組み

総合討論：モデレーター 後藤弘子（GEAHSS 副委員長、千葉大学法経学部教授）

16:55 閉会挨拶：青野篤子（GEAHSS 副委員長、福山大学人間文化学部教授）